

お知らせ

看護職員継続教育研修第3回を開催しました

平成25年度CPDプログラム 「看護管理者の経営管理能力を磨く」 「看護サービスイノベーション：大変革時代のケアのあり方を問う」 を開催しました。

日時：平成25年11月23日（土） 午前9時30分～午後12時30分

参加者：221名

1. 開会（挨拶）

熊本県立大学総合管理学教授 荒木紀代子

2. 講演

講師 札幌市立大学看護学研究科 客員教授

神奈川県立保健福祉大学 客員教授 松下 博宣 氏

テーマ 「看護サービスイノベーション：大変革時代のケアのあり方を問う」

平成25年11月23日（土）熊本県立大学大ホールでCPDプログラム「看護管理者の経営管理能力を磨く」の第3回講演会を開催しました。

講演では、講師の松下博宣氏が、「看護職は、ケアの担い手としてのケアのあり方に抜本的なイノベーションが期待されている。」と話され、誰もが実践できるイノベーション創発のコツについて具体的に述べられました。



また、国内外の医療・保健・福祉サービスの改革支援の経験を踏まえて、先駆的な改革に取り組み、効果を上げている病院やクリニック、連絡会等の活動報告があり、現場ですぐに取り組める改革のヒントを沢山ご教示くださいました。

医療・保健・福祉の現場で成功した病院やクリニック等での実践例から変革を起こす人の共通点として、「気づいて、まずやってみる。そして、仲間をつくり、仕組みとしてまとめる、加えてコミュニケーションが上手い人である」と話されました。

最後に保健・医療・福祉界の変革には、ソフトスキルである人間力を備えたT型人間が求められると結ばれました。



参加者は、病院勤務者が約9割強、職位は看護師長・主任看護師が7割でした。また、参加者の9割以上の方々から「参考になった」という回答をいただきました。

「イノベーションを起こす際の考え方、技法のポイントを学べた」、「変革するための共感の重要性を再認識した」、「日々の業務改善からPDCAサイクルを回すことで、イノベーションを起こすことが出来ると良いと思った。」など、受講者の方々から多くのご意見をいただきました。



本件に関する問い合わせ先

〒862-8502（大学専用郵便番号：住所記載不要）

熊本市東区月出3丁目1番100号

熊本県立大学 総合管理学部

看護職員継続教育プロジェクト室

TEL・FAX 096-321-6729

E-mail kango-pj@pu-kumamoto.ac.jp

[↑top](#)

[サイトポリシー](#) | [お問い合わせ](#) | [サイトマップ](#)

公立大学法人熊本県立大学 〒862-8502 熊本市月出3丁目1番100号 TEL 096-383-2929 FAX 096-384-6765

Copyright 2010 Prefectural University of Kumamoto All rights reserved.